

新春インタビュ。

NEW GROOVE ON!!!

オルガン・プレイヤーの小野みどりさんに訊いてみました。

オルガン・プレイヤーであり、現在3児の母である、小野みどりさん。私はそんな小野さんのハモンドへの転向きっかけを、つたそり教えていただきました。

ズバリ聞きます。
鍵盤楽器を始めたきっかけは?

私の場合は、ピアノからではなくてやマハのエレクトーンが始まりでした。5才頃から遊び始めて、エレクトーンを弾くのが大好きになりました。クラシックピアノは小学生の時から始めていましたが、正直アーノは嫌いでした。

ハモンドへの転向、ジャズとの出会い。

ずっとエレクトーンを続けていくつもりでしたが、使っていたエレクトーンの型が古くなり、そろそろ買ひ替えなければならなくなつた小学五年生の時に、父親からハモンドオルガンは音がいいし、エレクトーン



奇妙な関係。おもろい。

私は不満だったのですが、その音色にハモンドオルガンに買ひ替えてしまいましたが、家ではクラシックが主に流れていましたが、父はジャズも聴きだし、かつては、オルガンで興味を持ちだし、と思うようになります。ジャズを弾きたい! と思って、高校生までは一人オルガンに向かって弾いていましたが、大学に入つてからバ

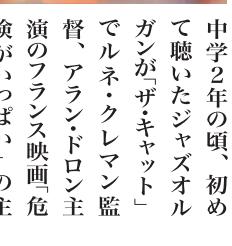
ーで専門にやつている軽音楽部に入つてからバンドを始め、一気に世界が広がりました。日本にいたアメリカ人のオルガンプレイヤーの演奏を初めて間近で聴いて、左手の頃、日本にいたアメリカ人のオルガンプレイヤーの演奏を初めて間近で聴いて、左手でベースを弾きながらソロをするそのグルーブ感に衝撃を受け、自分もそんな演奏をしたいとオルガン・プレイヤーへの道を進むことになりました。

これから夢つて何ですか?

とりあえず10年以上前から作つていなくてCDを作る事と、日本の民謡を時々弾いていたのですが、それを和太鼓と演奏するといふのは、なぜか思子達も喜んでくれて、あわと、できれば息子達も喜んでくれる事です! よくはアメリカで演奏する事です!

(インタビュー / RIKKA)

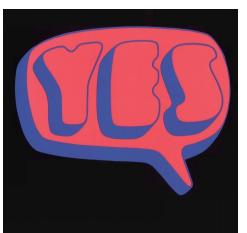
● オルガンジャズの至高の名盤ベスト3は何ですか?



①ザ・キャット
中学2年の頃、初めて聴いたジャズオルガンが「ザ・キャット」でルネ・クレマン監督、アラン・ドロン主演のフランス映画「危険がいっぱい」の主題曲。ラロ・シフリン編曲の軽快なブラスのオーナリングから、ケニー・バレルギターのカッティングが序奏をつけると、スミスの弾くテーマ・メロディが重なりオルガンを中心にダイナミックなバックアンサンブルと共に盛り上がり上がっています。

②オルガン・グラインドスウイング
このアルバムは、最高に気の合つたトリオによるスインギーかつブルージーな会心作です。ジミー・スミス(オルガン)ケニー・バレルギター、グラディ・ティート(ドラム)A面の3曲は、まさにジャズオルガンの真髄です。B面には、「グリーン・スリーヴス」「サテン・ドール」が入っていてリラックスできる好演奏です。

はい。プログレ界でも…。



播磨の英国ロックファンの東皆さんコンニチワ! 本日のライヴの主役であるハモンド・オルガンの重厚な響きは、ロックの世界でもブリティッシュならではの魅力的なエレメントとして幾多の名曲を彩っています。ここで紹介するのは、プログレの雄・イエスの1969年(ロックのミラクル・イヤー!)のデビュー・アルバム(ワーナーミュージック)から『ルッキング・アラウンド』。イエスの看板であるコーラス、キャッチーなフック、ドラマチックなアレンジがコンパクトに纏まった佳曲です。早速聴いてみましょう。栄光の初代キーボーディスト、トニー・ケイのファンキーなオルガンがイントロから炸裂します。Aメロでは曲の看板であるブルージーなリフを先導し、間奏ではアンサンブルに統いてイントロフレーズが再来、キメは怒濤のグリッサンド…見せ場テンコ盛り! カッコイイですね。本盤はジャズファンにとって、プログレの巨匠、ビル・ブルフォードの粹な小技を散りばめたジャジーなドラミングが聴けるのが嬉しいです。(筆:北島トシロー)

③ザ・モンスター
まずは、「The Incredible」ジミー・スミスでしよう。いや、リアル・タイムで聴いたジミースミスのアルバムから、ベスト3を選んでみました。

このザ・モンスターは、決して有名なアルバムではありません。ショーン・コネリー主演の007シリーズ3作目「ゴールド・フィンガー」の主題曲がオープニングナンバーでPart.1-2と21種類の演奏を聴くことができます。もう最高です。オリバーネルソンの歯切れの良いアレンジも最高。(筆:ビコーズマスター・宮崎)



クイズに答えて素敵な商品をゲットしよう!

クイズに答えて素敵な商品をゲットしよう! プレゼント応募券をFAX(06-6696-2684)または郵便(06-6606-6656)にて送付下さい。クイズの答え、「JAZZ」(JAZZ)または「JAZZ」(JAZZ)のどちらかに投票して下さい。抽選で各賞に当たる。お問い合わせ:06-6696-6656 フォンセン通信所

ザ・ニュー 東播ジャズ通信 News Vol.1

2011年1月29日発行 発行:東播ジャズ俱乐部 編集部
編集長:RIKA 編集:大友トシロー・有富トシロー・加藤トシロー・北島トシロー・奈良トシロー
デザイン:大友トシロー(デザイン事務所:babylon72) 制作進行:北島トシロー
http://t-jazz.com/ E-Mail / info@t-jazz.com

特集

ジャズと「私」の奇妙な関係。 今宵、オルガンに翻弄される。

ハモンドオルガン専門店「ワイエスコーポレーション」

ハモンドB-3の魅力にとりつかれて…。

ヴィンテージのハモンドオルガンを取り扱うワイエスコーポレーション。大阪の長居にその居を構えており、オルガンの修理・販売だけに留まらず、精力的にオルガンライブやセッション、活躍中のオルガニストを擁し、後進の育成も行っている。関西のオルガンジャズシーンを牽引しているといつても過言ではない。そんなワイエスコーポレーションの社長山本氏に伺った。

B-3との出会いと起業。

元々日本ハモンド(株)と言うハモンドオルガンを扱う会社に大学を卒業して入社しました。この日本ハモンド(株)に入るきっかけは大学時代にラジオでジミー・スミスの「The Cat」を聴いて、なんてカッコいい演奏なのだ、なんてハモンドB-3はいい音なのだと思ってたら、新聞で日本ハモンドの前身会社エース電子工業が社員を募集していて、給料が安かったのですが好きなハモンドB-3に触れられるので喜んで入社しました。入社して3年目には憧れのジミー・スミスにも会うことが出来ました! 日本ハモンドで16年勤め1986年にワイエスコーポレーションを創立しました。きっかけは、B-3が75年に製造中止になったことで、それからは新しいオルガンしか扱えなくなってしまったので、「それなら自分でB-3メインのものを!」と独立しました。お陰でジミー・スミスには10回以上その他の海外の有名オルガニストにも会うことが出来仲良くさせてもらっています。

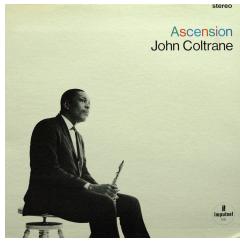
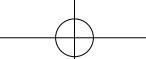
B-3の魅力とは?

1934年から1975年までに作られたハモンドオルガンは音源がトーンホイールという無数の歯車と真空管アンプで作られています。音は生音そのもので暖かく歯切れがよく分厚い音がして、音の立ち上がりが抜群にいいのです。この音は現代の電子技術では再現できません。スピーカーも真空管を使った回転式の「レスリースピーカー」で、これはスピーカーが回転することでドップラー効果により音にうねりをつけるものです。このトーンホイールオルガンの傑作がB-3です。1955年から1975年までモデルチェンジなく製造されました。製造中止になって35年経った現在でも世界中のプロプレーヤーが使い続けている名器中の名器です。

これからの夢は?

小野みどり、橋本有津子という2人のオルガニストのアメリカツアーやCD製作、世界のトップオルガニストであるドクター・ロニー・スミス達の日本ツアー等、大体夢は実現しているのですが、一人でも多くの方にハモンドオルガンの素晴らしさを知つてもらい、ハモンドオルガンを弾く人が増えたら本望です。これでお金が儲かれば言うことはないです(笑)。(インタビュー / RIKKA)

ワイエスコーポレーション 〒558-0003 大阪市住吉区長居3丁目5-14
tel: 06-6696-2684 fax: 06-6606-6656
http://www.ys-co.org/index-j.html



私 が最初にJAZZと巡り合ったのは何時のことだったであろうか、薄い記憶をたどってみると、それは1960年代終わり頃ではなかったかと思われる。アルバイト先で知り合った学生（当時彼は早稲田のハイソサエティオーケストラに所属し、ドラムを叩いていたと記憶している）に連れて行ってもらったJAZZ喫茶。初体験のそれは異次元空間に迷い込んだ羊、不味いコーヒー、大型スピーカーから流れ出る大音量のJAZZ、煙草で煙つた空間、客は皆だまりこくつて（後で知った事であるが、珍しくこの喫茶店は会話禁止などの制約が無かった）。そこでこの学生に「この音楽は何？」と聞いたような気がする、それはジョン・コルトレーンのアセンションであった。私のJAZZ初体験がフリージャズであった事も幸いし？この時はJAZZに傾倒する事は無かった。当時軽音楽同好会で遊んでいた私にとって、それは余りにそれはかけ離れた音楽のように感じたからではなかったかと思われる。（しかし心の奥底に引っ掛かりを残しながらも…）。フリージャズについては、後述するが富澤雅彦さんにお会いしてから、すっかり認識が変わっていた。そんなこんなで…

1970年代に入り神奈川県の企業に就職。東京へもちよくちょく遊びに行く機会が増え、JAZZ喫茶やライブハウスに通っていた。特に自由ヶ丘のファイブスポットでは日野皓正、鈴木勲などの演奏に触れ、当時の熱いJAZZシーンの片鱗を体感することが出来たのは幸であった。この頃から本格的にJAZZを聴くようになった。それは1970年代中頃のある日の事、NHK-FMでアート・ペッパー・グループのライブ演奏を偶然聴いた（昔はFMでよくJAZZを流していた）。ご存じのようにアート・ペッパーは麻薬の問題で療養所暮らし、しばらくJAZZシーンから遠ざかっていたが、日本のファンの強い要望によって復帰してきたと言っていた。彼の場合、復帰前と復帰後の評価が大きく分かれ、「JAZZ批評」などの雑誌で大きく取り上げられていた。それは偶然やってきた。神奈川県厚木市で見つけたJAZZ喫茶が、その後の私のJAZZ人生に大きな影響を与える事となった。この喫茶店はどちらかと言うとフリー系のJAZZを流しており（もちろん4ビートのJAZZも流していた）、マスターが若かった言もあり、会話禁止とかの制約も無く、客同士が色々なJAZZの情報交換を行っていた。又、月に何度もジャムセッションも行っており、又、近隣にはプロのミュージシャンが居たりで非常に熱い空間であった。

※付記

読者の皆さんもお気付きだろう…。文章は厚木のジャズ喫茶の場面でブツンと途切れている。私達の大切な仲間であった中島紀夫さんの命の炎も、この瞬間に消え去ることになった。お亡くなりになる直前まで、病床にはジャズが流れていたと聞く。迫り来るご自身の最後を意識しつつ、「一期一会」の面持ちで音楽に向かい合っておられた氏の姿が思い浮かぶ。ここに描かれているのは、まぎれもなく60年代後半の団塊世代の共通体験であり、時代の「熱」のようなものである。生活はけっして豊かではなかったけれど、進む先には明るい未来があるに違いない…そんな夢が持てた時代。中島氏が当時の想い出を胸に秘めながら旅立たれたのであれば、せめてもの幸いというものである。病床の氏に原稿を依頼したことが良かったのか悪かったのか…この想いからまだ逃れられないでいるが、そのように信じて、敢えて今回会報に掲載させていただくことにした。（筆：しろくま）

設立、2年目！東播ジャズ倶楽部、会員募集！



あなたは、こんな症状ありませんか？

- ジャズに興味がある。
- ジャズ聞くのが好き。
- 楽器の演奏します。
- 音楽イベント作りをしてみたい！
- 東播のジャズ情報が欲しい。
- 趣味友達が欲しい。

4~6個あてはまる → まさかっ!? 既に会員ですか？まだの方はさあ！

1~3個あてはまる → まあ、とりあえず情報会員から始めてみますか？

1つもあてはまらない → まずホームページを覗いてみましょう。

●毎月集まる月例会やライブの手作りしてみませんか？詳細は、<http://t-jazz.com/> もしくは、スタッフまでお気軽にお問い合わせください。

●広告、配布に関するお問い合わせは、東播ジャズ倶楽部事務局まで。
<http://t-jazz.com/>
E-Mail / info@t-jazz.com

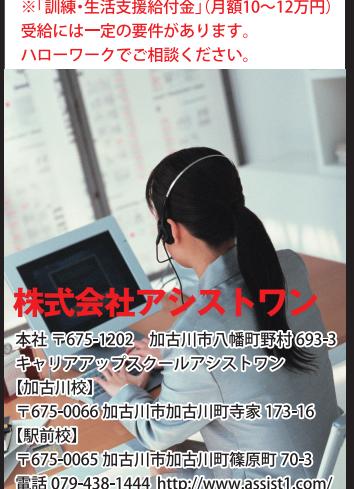
受講料無料！職業訓練生募集！ニッケバーカクタウン前 加古川校にて。

(内容) 「簿記会計・パソコン基礎科」
・エクセル・ワードの基礎から応用まで
・簿記3級、パソコン会計(簿生会計)
・ビジネスマナー、コミュニケーションなど
訓練期間:H23.3.8~5.30 9:30~16:15
対象者:雇用保険の給付を受けられない方
テキスト代:12,285円のみ必要です
(応募方法) まずはお電話で加古川校にてお問い合わせの上、最寄りのハローワークでお申込み頂き「受講申込書」を加古川校まで郵送ください。

コース名:職業横断的スキル習得訓練コース
訓練番号:22-28-01-03-1080
締切:2月7日(月)必着!定員15名

※「訓練・生活支援給付金」(月額10~12万円)
受給には一定的の要件があります。

ハローワークでご相談ください。



株式会社アシストワン

本社 〒675-1202 加古川市八幡町野村693-3
チャリティップスクールアシストワン
[加古川校]
〒675-0066 加古川市加古川町寺家173-16
[駅前校]
〒675-0065 加古川市加古川町篠原町70-3
電話 079-438-1444 <http://www.assist1.com/>

ITのことなら何でもお気軽にご相談ください…



・Word、Excel等ビジネスソフト完全個別指導
・MOS、P検等の資格取得講座
・企業、個人事業主対象ITコンサルティング
・インターネットソリューション
・ドメイン取得、レンタルサーバー、WEBページ制作

Lスクール加古川

<http://kn.org> E-mail : t@kn.org
加古川市加古川町西河原 34
TEL&FAX 079-422-8739

「音楽」もデザインします。

<業務内容>
●DTTグラフィックデザイン制作
・広告企画・デザイン制作
・カタログ・パンフレット・DMなどの企画、デザイン制作
・各種デザイン制作（ポスター・フライヤー・名刺等）
●WEBサイト制作
・コンテンツ企画・デザイン

BABYLON 72
Design Office
〒676-0051
兵庫県高砂市高砂町横町 1036
TEL & FAX: 079-442-0579
E-mail: archives313@ybb.ne.jp



いろは食品
〒2676-0063
兵庫県高砂市高砂町次郎助町 1578
TEL:079-442-0117

本物の肉の味、
知つてますか？



PUB & RESTAURANT
British Style
3 Harbor
兵庫県高砂市高砂町細工町 1358 TEL:079-443-0007

高砂で
ジャズ
聴くならココッ！

バレンタインデーに聴きたい曲？

このような記事依頼を受け
て、今現在現場で音楽の仕事をしている人の感覚を伝えるのが面白いのでは？と考え、知人のミュージシャンにメールしました。私の頭の中は、さぞかし甘い名曲が次々と舞い込んで来ると思いきや…



なんと一番多かったのが…
マイ・ファニー・バレンタイン!
(12票)

この曲はsweetというより自嘲的な意味合いも含まれ甘い告白には程遠く、ただタイトルにバレンタインが付くだけで(曲中の主人公名)、知人のミュージシャンに尋ねると「この時期に一番リクエストが多いから…」との答えで…知人のピアニストは「他に思いつかないですね～」ほんまかいな？あれだけのピアノ弾くのに？職業となるとそんなモノなのでしょうか。愛は無いの？LOVEはどこに行ったのよ？少しうつむきましたが某ピアニストが「そんなモノ、仕事で毎日、耳を酷使している私を愛していたらプライベートな時間は音ナシの世界で愛を感じたいわ」と完全にやられました。逆の解釈で仕事中は神経を研ぎ澄ましパートナー達の音を聞き分けているのだ。ちなみに私が愛を告白するなら「星に願いを」を4ビートにしてPOPでお茶目な感じで深刻さを誤魔化しながら告白するかもですね。

(筆:有富トシロー)



ジャズと歌謡曲とワタシ。

歌謡曲にも時にはハッとする魔法のような瞬間があつて今回、紹介する85年発売の小泉今日子の「魔女」は作曲家の筒美京平「マジック」とも言えるべき、神懸かりなイントロに困惑してしまいます。まず意図的に1拍目のバスドラが省略され、3拍目からイントロが始まります。つまり1、2の次にキーボードの音が入ってくるのですが、次の小節になります。はい…何言ってるか、さっぱりわかりませんね～(笑)つまりですね、普通はキーボードの「タラ・ラ・タタア～」がワンフレーズに聞こえたら、野菜はフライパンから一旦取り出す。

③1を中火で焦げないように気をつけながら炒める。野菜をもう一度フライパンに戻し、一緒に炒め合わせる。

④パンに具材とチーズを載せ、チーズが溶けるまでトーストしたら、できあがり。

(筆:RIKA)



こちら、事務局。RIKAちゃんのジャズでキッチン。

フ イラベルフィアで生まれた、チーズステーキサンド。元祖はシンプルに塩コショウのみの味付ですが、NY風は香辛料とステーキソースを使ったスパイシーな味付。ジャズクラブ帰りのNYっ子に人気のお店もあるそう！塩コショウじゃ味気ない、でも香辛料そろえるのも面倒だ！という方へ、簡単レシピのご紹介。

【お手軽！チーズステーキサンド】

パン…4つ/牛肉薄切り…150g / 玉ねぎ…中1個 / ピーマン…1個/ 塩胡椒…少々 / ウスターソース…大さじ2 / ケチャップ…大さじ2 / とろけるチーズ(cheddarチーズ) …2枚(半分に切っておく)

<作り方>

- ①牛肉を食べやすいサイズに切っておき、ウスターソースとケチャップを混ぜたものに漬け込む(10分から15分)
- ②玉ねぎを薄切りにし、かるく塩コショウしてフライパンで炒める。ピーマンは縦に細切りにし、玉ねぎが半透明になったら投入。玉ねぎが茶色くソテーされたら、野菜はフライパンから一旦取り出す。
- ③1を中火で焦げないように気をつけながら炒める。野菜をもう一度フライパンに戻し、一緒に炒め合わせる。
- ④パンに具材とチーズを載せ、チーズが溶けるまでトーストしたら、できあがり。

(筆:RIKA)



| 播磨のライブ情報 | |
|---------------------|--|
| 「サン・はーばー」 | 兵庫県高砂市高砂町細工町 1358 TEL:079-443-0007 定例・月2回 大石カルテット 小谷カルテット start 20:00 ~ 共に mc/3,500円 (ドリンク、フード付き) |
| 「JB-5」 | 神戸市垂水区神田町 4-7 旭ビル 2F TEL:078-708-4559 3月 27 日 vol. 山村いつか pf. 尾原やよい b. 池松正信 d. 川上隆之 start 19:00 ~ start 20:30 ~ mc/1,500円 (オーダー別) |
| 「music & cafe キャロル」 | 加古川市別府町別府 837-1 TEL:079-435-5212 2月 2 日 vol. 黒岩静枝 pf. 山下泰司 start 19:30 ~ (2ステージ入れ替えなし) mc/4,000円 |
| 「チャツツワース」 | 兵庫県加古川市加古川町篠原町 4-7 TEL:079-420-1707 3月 11 日 茶木みやこ ライブ open 18:00 start 19:00 前売り 3,000円 (1ドリンク別途必要) 当日 3,500円 (1ドリンク別途必要) |

編集後記

あついう間に、編集期間が過ぎていきました。リズムやタイミングがジャズ大事です。が、まさしくそういう時期だったのでかもしれません。ささいなきっかけが、とっても大きな波になつたのではないかと思います。うれしいことです。第1号を生むに当たって協力いただいた方々に感謝します。ここまで読んでくださった読者の方々にも感謝します。(筆:RIKA)

<http://carol-yumi.com/>